

JUDI 都市環境デザイン会議 関東ブロック

伝統的建物と石の街・真壁キャラバン

10:30 JR常磐線「土浦」駅（東口駅前広場） 発

↓ [バス移動]

11:10 小山寺（富谷観音） 着

重要文化財「小山寺三重塔」等を見学

11:40 小山寺（富谷観音） 発

↓ [バス移動]

12:00 真壁地区（高上町駐車場） 着

「桜川市真壁伝統的建造物群保存地区」、「真壁伝承館歴史資料館」等を各自自由見学。昼食も真壁地区で各自。

※ 地区内に十数件の飲食店があります。また、真壁地区は数年前から『すいとん』で町おこしをしています。

14:10 真壁地区（高上町駐車場） 発

↓ [バス移動]

14:30 真壁城跡（市営レストハウスみかげ） 着

国指定文化財（史跡）「真壁城跡」を見学

15:00 真壁城跡（市営レストハウスみかげ） 発

↓ [バス移動]

16:00 予科練平和記念館 着

予科練平和記念館を見学

16:30 予科練平和記念館 発

↓ [バス移動]

17:00 JR常磐線「土浦」駅（東口駅前広場） 着 解散

↓ [バス移動]

17:15 「料亭 霞月楼」 着 【オプション】

「料亭 霞月楼」にて夕食（8,000円予定・お酒は別途）

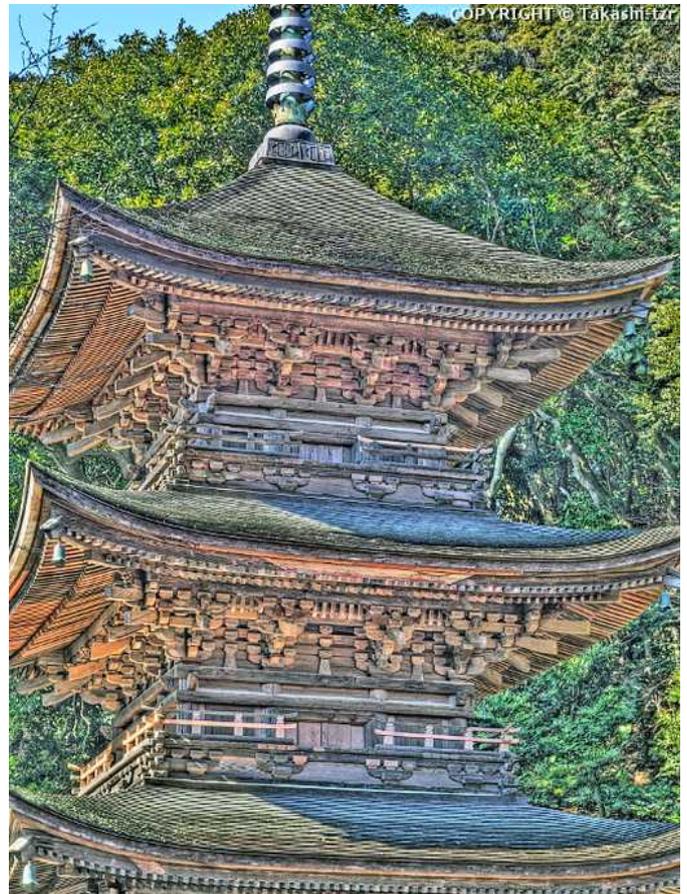
行	上野駅発9:30 → 柏駅発9:54 → 土浦駅着10:15 [フレッシュひたち13号] 上野駅発9:04 → 柏駅発9:33 → 土浦駅着10:24 [普通列車「勝田」行き]
帰り[土浦解散組]	土浦駅発17:23 → 柏駅発17:47 → 上野駅着18:07 [フレッシュひたち48号] 土浦駅発17:28 → 柏駅発18:05 → 上野駅着18:33 [普通列車「上野」行き]
帰り[オプション]	土浦駅発19:23 → 柏駅発19:45 → 上野駅着20:04 [フレッシュひたち56号] 土浦駅発19:36 → 柏駅発20:12 → 上野駅着20:44 [普通列車「上野」行き] 土浦駅発19:47 → 柏駅発20:32 → 上野駅着21:00 [普通列車「上野」行き] 土浦駅発20:23 → 柏駅発20:45 → 上野駅着21:04 [フレッシュひたち60号] 土浦駅発20:06 → 柏駅発20:48 → 上野駅着21:17 [普通列車「上野」行き]

■ 小山寺三重塔（富谷観音）

名 称 : 小山寺三重塔（おやまじさんじゅうのとう）
区 分 : 重要文化財（1906〔明治39〕年4月14日指定）
種 別 : 近世以前（室町時代中期）／寺院
建設年代 : 1465〔寛正6〕年
住 所 : 茨城県桜川市富谷2190
構造形式 : 三間三重塔婆、とち葺、総高21.38m
修理履歴 : 1660〔万治3〕年～1661〔万治4〕年 ・ 半解体修理
1724〔享保9〕年 ・ 大修理
1747〔延享4〕年、1864〔元治元〕年、1891〔明治24〕年 ・ 屋根葺替
1698〔元禄11〕年、1926〔昭和元年〕、1948〔昭和26〕年 ・ 部分修理
1988〔昭和63〕年～1990〔平成2〕年 ・ 解体修理

735〔天平7〕、聖武天皇の勅願により行基菩薩が創建したという古寺。南北朝時代戦火により荒廃したが、結城氏、多賀谷氏などの庇護を受け 信者の寄進などで復興した。

この三重塔は関東以北で最も古く、派手な彫刻は無いが屋根の反りは流麗で、素朴ながらも落ち着いた美しい塔である。



■ 桜川市真壁地区伝統的建造物群保存地区

名称：桜川市真壁伝統的建造物群保存地区（平成22年6月29日選定）

保存地区：重桜川市真壁町真壁字下宿町、字高上町、字大和町の全域並びに字上宿町及び字仲町の各一部（17.6ha）。伝統的建造物として特定されている建物104件。

特徴：戦国期の真壁城（国指定史跡）に付属した集落を起源として、笠間藩の陣屋が置かれた在郷町として発展したもので、江戸時代以来の町割が残っている。重厚な蔵造の町屋を中心に近代の町屋や洋風建築も残り、薬医門や袖蔵を建てて塀を巡らすなど、北関東らしい多様な町並み景観に特徴がある。



■ 真壁城跡

名 称 : 真壁城跡
区 分 : 国指定文化財（1994[平成6]年10月28日指定）
種 別 : 史跡
遺 構 : 城門（移築現存）、曲輪、土塁、堀
形 式 : 平山城
築 城 者 : 真壁長幹
築城年代 : 11172[承安2]年頃
住 所 : 茨城県桜川市真壁町古城・山尾

中世この地を治めた真壁氏の城跡である。

真壁駅跡の東に位置し、加波山系の足尾山西麓にある台地上に築かれた連郭式の平城である。また、古代の真壁郡家が存在したとも言われ、真壁郡の中心地に位置していた。

西に本丸を同心円状に囲む二ノ丸があるほか、二ノ丸の東側に三の郭（中城）・四の郭（外郭）が続き、外郭南東端には鹿島神社が祭られている。

広さは12.5ha。本丸を中心に巡らした四重の堀と土塁、土橋などが良好な状態で残され、中世城郭の構造を知る上で貴重な城跡である。

築城は承安2年（1172年）と伝わる。大掾直幹の子・長幹が真壁郡に入って真壁氏を名乗り、郡家の場所に築城した。以来真壁氏の居城として続いた。

城門のうち薬医門が各々一棟、樂法寺黒門（旧大和村）・個人宅表門（旧協和町）として移築され現存している。縄張り全体では保存状態は良好だが、本丸跡には旧真壁町立体育館があり、二の丸跡には体育館建設での残土が盛られているなど中枢部の保存状態は良くない。

1934[昭和9]年12月18日に本丸部分の一部が茨城県指定文化財（史跡）となり、1994[平成6]年10月28日に国指定文化財（史跡）となった。

現在、発掘調査と史跡公園整備事業が進められている。



■ 予科練平和記念館

名 称 : 予科練平和記念館
住 所 : 茨城県稲敷郡阿見町大字廻戸 5 - 1
電 話 : 029-891-3344
開館時間 : 9 : 00 ~ 17 : 00 (入館は16 : 30まで)
休 館 日 : 月曜日、祝日 (祝日が月曜日の場合はその翌日)、年末年始 (12月29日～1月3日)
料 金 : 一般 (大学生以上) 500円 (団体[20名以上]は一人400円)
小学・中学・高校生 300円 (団体[20名以上]は一人240円)

■ 予科練平和記念館建設の目的

茨城県阿見町は大正時代末期に、東洋一の航空基地といわれた霞ヶ浦海軍航空隊が設置されて以来、昭和14年には海軍飛行予科練習部、いわゆる「予科練」が神奈川県横須賀から移転し、翌年には予科練教育を専門におこなう土浦海軍航空隊が設置された。

予科練教育の中心としての特別な性格を受け継ぐとともに、長く海軍の町としての歴史を歩んできた阿見町は、わが国の近代史の中でもひととき光芒を放つ特別な時代を過ごし、日本が経験してきた戦争と平和を考えるうえで、忘れることのできない多くの事柄をその風土と歴史の中に刻み込んでいる。

このような歴史的な背景の中で、予科練を主体とした貴重な資料を保存・展示するとともに、戦史の記録を風化させることなく次の世代に継承し、命の尊さや平和の大切さを考えてもらうため「予科練平和記念館」を建設した。



■ 料亭 霞月楼 【オプション】

名 称 : 料亭 霞月楼
 住 所 : 茨城県土浦市中央1-5-7
 電 話 : 029-822-2516

月ごとに替わる旬の食材で彩る会席料理は9品目（食前酒、先附、煮物椀、造り、焼肴、八寸、箸休め、鉢肴、食事）。一人9,660円（御料理8,000円＋奉仕料1,200円＋消費税460円）。お酒は別途。

1927年5月に、弱冠25歳で世界初の大西洋単独無着陸横断に成功した空の英雄チャールズ・A・リンドバーグは、4年後の1931[昭和6]年、北太平洋航空路の調査を兼ねて、空の大使としてアン夫人と来日した。

夫妻は空の大使として滞日行事を終え、同年9月12日に、松永副長以下海軍航空隊幹部士官らが、一同身銭を切って霞月楼で送別会を開いた。きれいだころも交えた、日本式の宴会で、大佐は芸妓の踊りが気に入り、アン夫人に「君も何か踊れよ」と薦めたほどご満悦だったという。

MAP ご案内図

●JR常磐線土浦駅西口下車、徒歩10分
 ●常磐線桜土浦IC15分、土浦北ICから15分

WELCOME TO TSUCHIURA

美しい自然と伝統に包まれた街土浦へようこそ。季節ごとの多彩な情景を楽しんで下さい。

- 全国花火大会
- 霞ヶ浦と筑波山
- 電城公園
- 土浦駅前
- ヨットハーバー

料亭
霞月楼
かげつろう
ご予約・お問い合わせ
〒300-0043
茨城県土浦市中央1-5-7
TEL 029-822-2516
FAX 029-822-2518

■営業時間 (昼) 11:00~14:00L.O.
(夜) 17:00~21:00L.O.
上記以外のご予約も承ります。お問い合わせ下さい。

■定休日 火曜日定休 祝日前日を除く

■個室 お座敷8室(2~100名様)、茶室、会議室

■個室料金 無(茶室を除く)

■お取扱カード ダイナース、JCB、AMEX、VISA、SAISON、日本信販

■お支払い方法 現金、カード、銀行振込(法人のみ)

■ご予約(お料理のみ) 昼:お1人様 ¥5,800~
夜:お1人様 ¥8,000~